

社会・環境報告書 2023



鍋林株式会社
Nabelin Co.,Ltd.
www.nabelin.co.jp

ごあいさつ

弊社は創立100周年を迎えた32年前より、「国境を越えた地域社会の繁栄のために積極的な役割を果たし、人々のしあわせを創造していく」ことを基本方針として掲げてまいりました。この「国境を越えた地域社会」という言葉には、地域社会での身近な行動を基本としながら、その延長が地球規模の総合的な活動にそのまま繋がっていくのだという思いが込められています。繊細な視点と包括的な視野を併せ持って、経済活動や環境活動に取り組んでいくことが肝要であると考えます。

集中豪雨や豪雪、最高気温の更新など、近年多発する異常気象とも言える現象は、地球温暖化と密接な関係があると言われます。地球温暖化は人間活動によるところが大だとされる中、環境活動の必要性は高まるばかりです。そうした世界規模での環境問題も、個人個人が未来を見据え、そのために何をすべきかという問題意識を持ち、真剣に日々取り組んでいくことが欠かせません。

そうした意識のもと、 unnecessaryな電灯を消したり、電気機器のスイッチをオフにする、紙の使用量を減らす、車のアイドリングストップやエコ運転をする、そして公共交通機関を利用した通勤車両ノーマイカーデーを毎週実施するなど、日常の中で一人ひとりが取り組む小さな活動が、ひいては地球規模の持続可能な環境保全に繋がるものと考え行動してまいります。

また同時に、企業の事業活動としても、環境に配慮した商品を積極的に取り上げ、それをお得意先にご提案し、ご採用いただくことによって、環境保全に資しながら社会全体に環境意識を広めていく一助となることを目指してまいります。

2021年度より、ISO14001の環境方針に「6. SDGs活動を推進する。」との項目を付け加えました。全社として、また事業部として取り組むべき内容を明確化する活動を続けてきました。2022年度（2022年5月～2023年4月）より、目標管理の項目としてフォローしてまいります。

本報告書に、2022年度の鍋林株式会社の活動の概要をまとめさせていただきました。ご覧いただき、これからも変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

島 宏 幸

事業概要

名称及び代表者	鍋林株式会社 代表取締役社長 島 宏 幸
主な事業内容	医療用医薬品、医療・介護機器、基礎化学品、医薬原料、半導体薬品、電子材料、樹脂、設備機器、食品原材料、食品包装資材、OA機器コンピュータの販売、及び取り扱い品目の輸出入など。
事業規模	資本金 1億94百万円 (2023年4月末現在) 年商 889億00百万円 従業員数 552名

拠 点

本 店	長野県松本市中央3丁目2番27号	富 山 営 業 所	富山県魚津市大海寺新329
松 本 本 社	長野県松本市双葉8番10号	関 東 営 業 所	埼玉県鶴ヶ島市柳戸町11番地7
東 京 本 社	東京都中央区八重洲1丁目3番22 (八重洲龍名館ビル7階)	東 京 営 業 所	東京都中央区八重洲1丁目3番22 (八重洲龍名館ビル7階)
長 野 営 業 所	長野県長野市アークス1番14号	山 形 営 業 所	山形県東根市大字郡山字四角石89番地
松代配送センター	長野県長野市松代町大字豊栄字宮崎6331番地	酒 田 営 業 所	山形県酒田市広栄町1丁目1番4号
東 信 営 業 所	長野県小諸市大字西原字金山646番10号	仙 台 営 業 所	宮城県黒川郡大和町吉岡東3丁目8番11号
松 本 営 業 所	長野県松本市双葉8番10号	名 古 屋 営 業 所	愛知県名古屋市中区錦2丁目2番24号 (いちご丸の内サウスビル6階)
あづみ野配送センター	長野県北安曇郡松川村南神戸4363番地32	大 阪 営 業 所	大阪府大阪市中央区道修町1丁目4番8号 (道修町ビル2階)
岡 谷 営 業 所	長野県岡谷市長地小萩1丁目13番11号	福 岡 営 業 所	福岡県福岡市博多区博多駅南3丁目2番3号 (アイビービーフェリクス博多802号)
伊 那 営 業 所	長野県上伊那郡南箕輪村9033番地	熊 本 営 業 所	熊本県熊本市南区流通団地1丁目10番2号
飯 田 営 業 所	長野県飯田市下殿岡263番地1	長 崎 配 送 セ ン タ ー	長崎県大村市西部町971番地
甲 府 営 業 所	山梨県甲府市上阿原町240番地	鹿 児 島 配 送 セ ン タ ー	鹿児島県霧島市国分敷根300番地
北 関 東 営 業 所	群馬県佐波郡玉村町大字板井870番地	台 湾 支 店 (日 商 鍋 林 股 份 有 限 公 司 台 湾 分 公 司)	台湾・台北市南京東路3段346-9號 9樓913室
宇 都 宮 営 業 所	栃木県宇都宮市東宿郷3丁目2番18号 (高智穂ビル5階A)		
新 潟 営 業 所	新潟県新潟市東区逢谷内字居前339番地1		
中 越 配 送 セ ン タ ー	新潟県燕市小関字野中1041番地		
上 越 営 業 所	新潟県上越市大字福橋字前田744番地1		

(2023年4月末現在)

環境方針

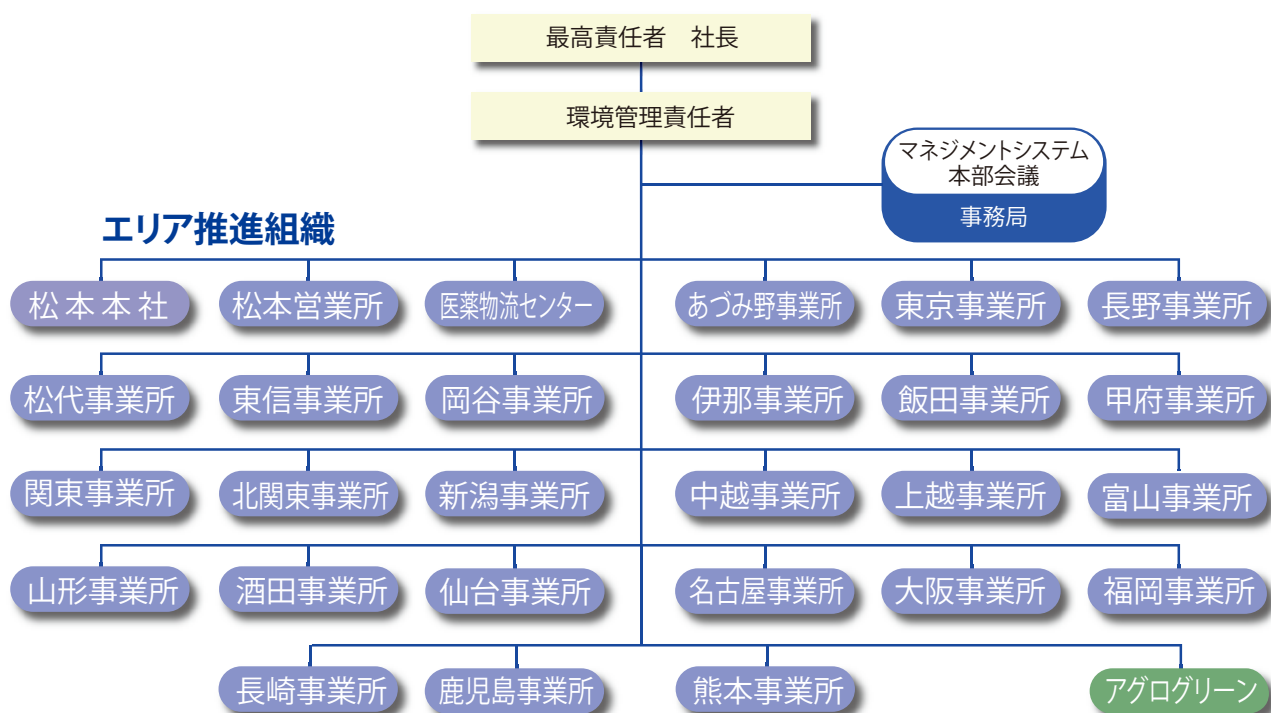
【理念】 鍋林株式会社は事業活動を通じて環境保全・社会貢献活動に取り組み、社会経済の発展と地球環境の保全を両立させた持続可能な社会の実現を目指す。

- 【方針】**
1. 環境保全型事業を推進し、持続可能な循環型社会の構築に寄与する。
 2. 環境パフォーマンスを向上すべく、マネジメントシステムを構築し、継続的改善を行なう。
 3. 国内外の環境関連法規、及び当社の同意するその他の要求事項を順守する。
 4. 本環境方針に沿って環境目的及び目標を設定し、必要により見直しをする。
 5. 次の課題を環境目的とする。
 - (1) 環境貢献商品の拡大
 - (2) 環境負荷の抑制と管理
 - (3) 地域環境保全への奉仕活動
 - (4) 有益な環境活動の推進
 6. SDGs活動を推進する。
 7. この環境方針は構成員に周知し、また利害関係者など一般へも公開する。

環境目的

1. 環境貢献商品の拡大
各事業部で品目を選定し、売上目標の達成を図る
2. 環境負荷の抑制と管理
電力使用量、車両燃料使用量、廃棄物排出量及びOA用紙使用量の抑制と管理
通勤車両ノーマイカーデーの実施
3. 地域環境保全への奉仕活動
地域清掃活動、地域貢献活動など
4. 有益な環境活動の推進
環境教育、コンプライアンス活動、献血活動、募金活動など

環境マネジメント組織図



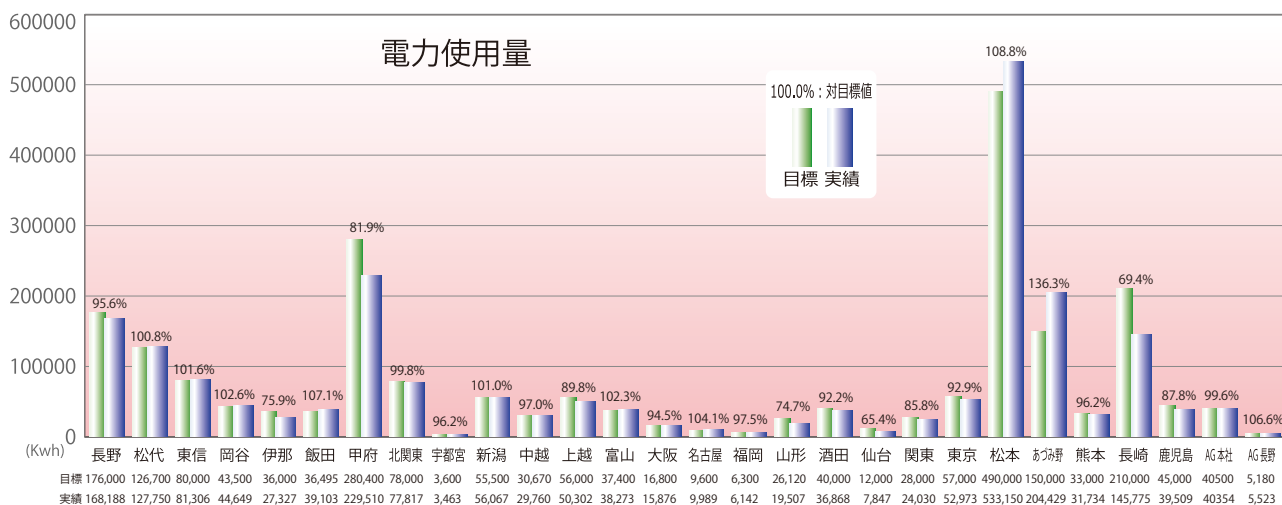
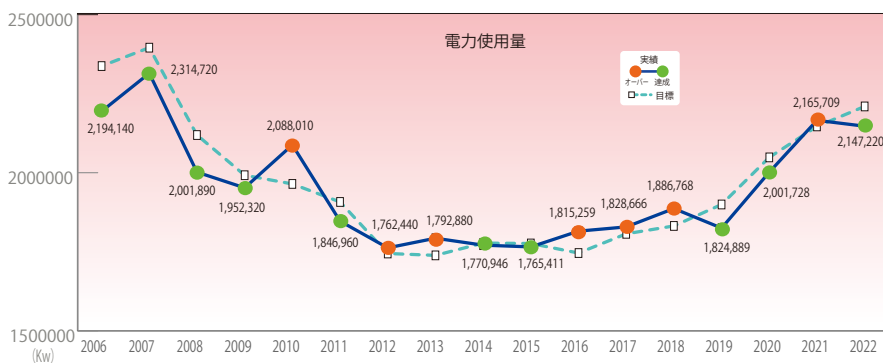
直近5年の環境実績と目標判定

	2018年度 実績	2019年度 実績	2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 目標	2022年度 実績	対目標	判定
電力使用量	1,886,768kw	1,824,889kw	2,001,728kw	2,165,709kw	2,209,765kw	2,147,220kw	97.17%	○
都市ガス 使用量	9,731 m ³	9,864 m ³	12,425 m ³	12,400 m ³	12,157 m ³	13,135 m ³	108.04%	×
灯油使用量	10,684 L	8,054 L	10,477 L	10,097 L	10,785 L	8,522 L	79.02%	○
社有車両 ガソリン使用量	512,984 L	497,626 L	482,354 L	468,390 L	464,073 L	418,969 L	90.28%	○
社有車両 軽油使用量	178,358 L	180,058 L	189,113 L	187,967 L	195,562 L	186,400 L	95.32%	○
契約車両 燃料使用量	95,471 L	89,914 L	90,233 L	88,927 L	91,345 L	92,190 L	100.93%	×
車両燃料 使用合計	787,096 L	767,598 L	761,699 L	745,284 L	750,980 L	697,559 L	92.89%	○
OA用紙 使用量	3,001,338枚	2,924,749枚	2,947,127枚	2,934,688枚	2,910,800枚	2,870,538枚	98.62%	○
廃棄物排出量	96,884 kg	73,192 kg	65,222 kg	74,494 kg	66,870 kg	68,175 kg	101.95%	×

17年間の目標・実績の推移と2022年度エリア別実績

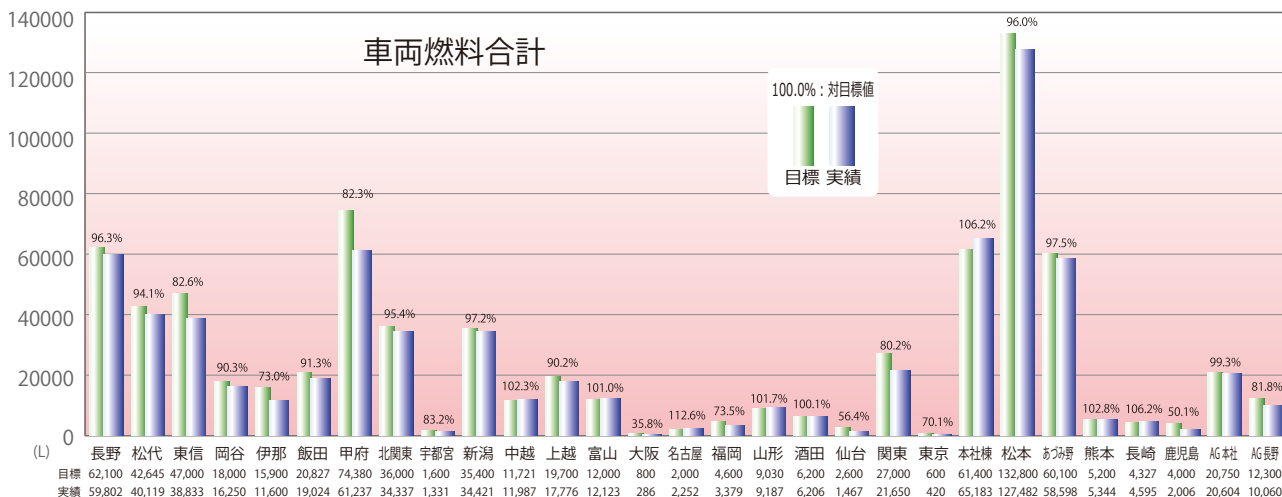
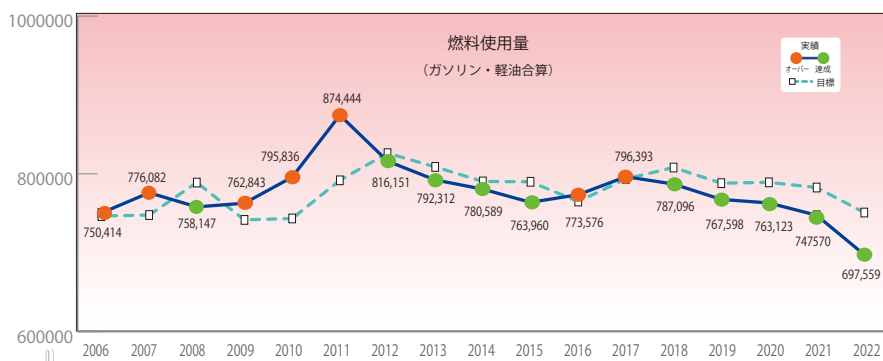
電力使用量

対目標値は全社で97.2%となりましたが、実数としては昨年度をオーバーしています。しかし、電力会社の排出係数が下がったため、CO₂排出量としては2022年比で99.4%に収まりました。



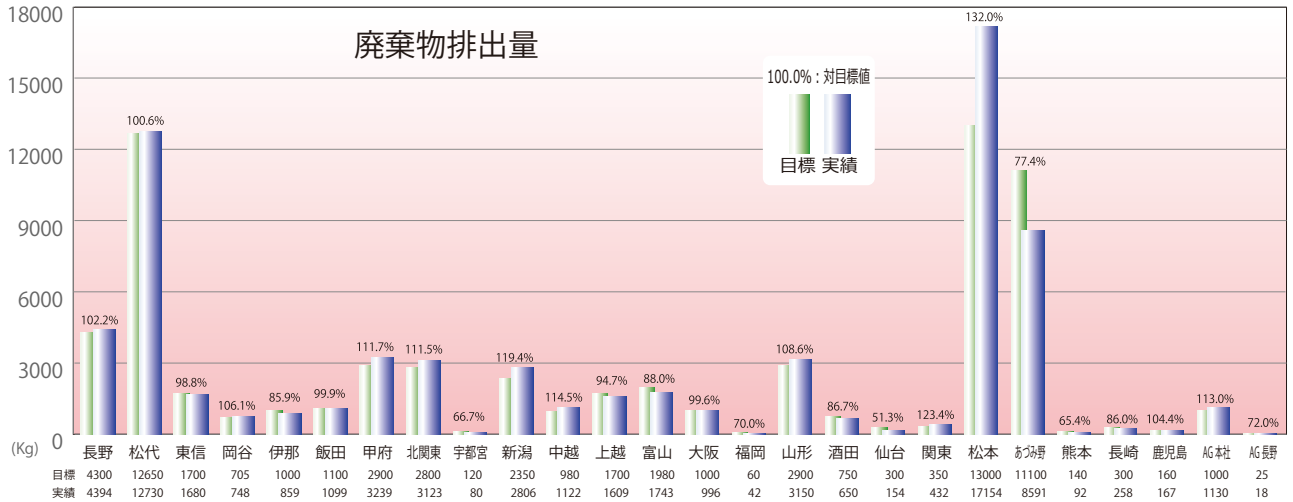
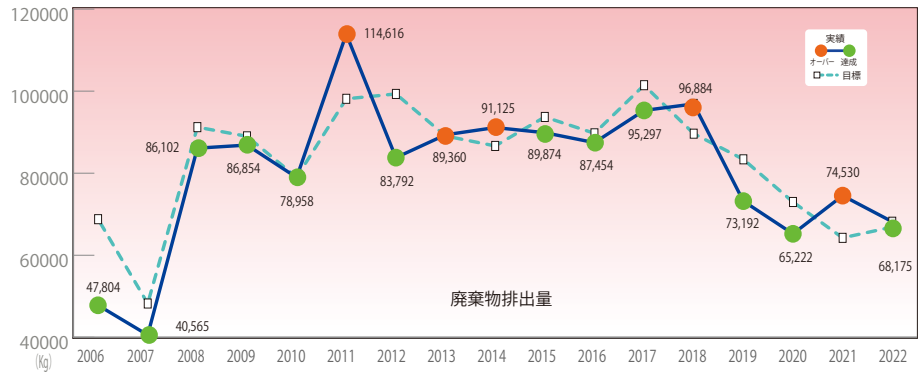
車両燃料使用量

ガソリン・軽油の社有車・契約車合算で92.9%と目標値をクリアしました。医薬品の配送便が減ったことなどにより、実績値でも昨年より1割減となりました。CO₂排出量としてもガソリン89.4%、軽油99.2%と削減されました。



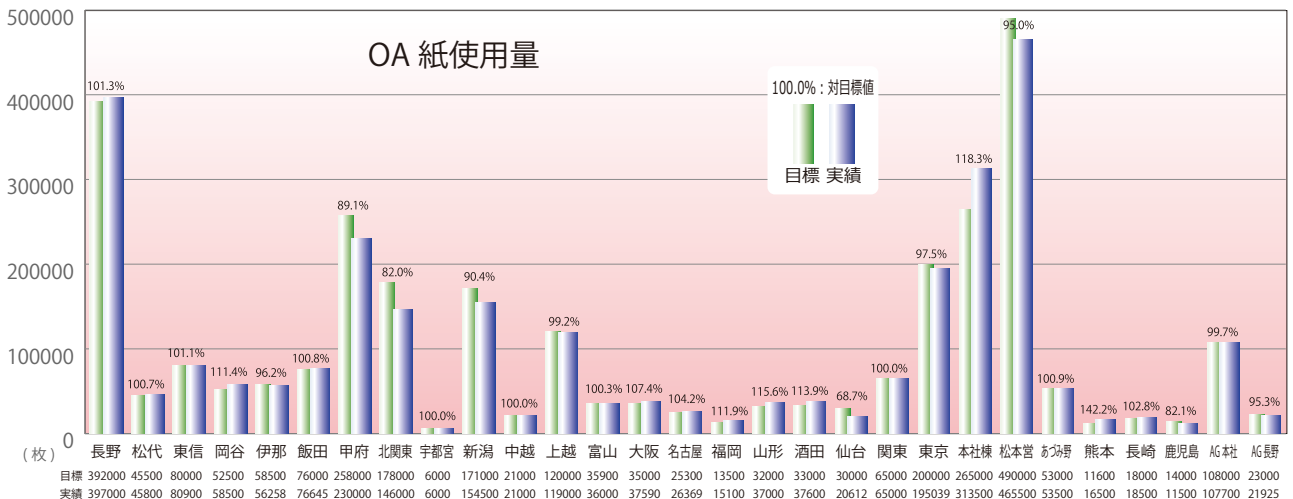
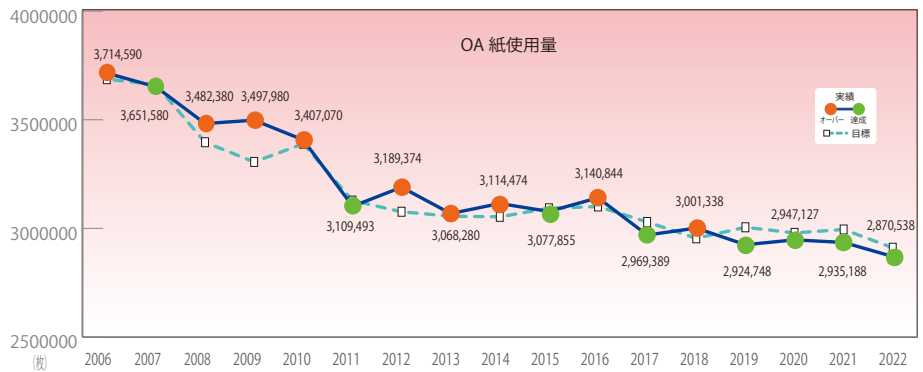
廃棄物排出量

実績としては68,175kgで昨年の74,367kgから大幅に減りましたが、目標値に対しては101.8%とオーバーしました。CO₂排出量は2022年比91.4%となりました。



OA用紙使用量

98.6%で目標をクリアしました。実績値としては2022年の2,935,188枚に対し2,870,538枚で97.8%となりました。



環境関連商品の取扱い

特に環境に対して良い効果をもたらすものを環境関連商品と位置づけ、各事業部主導のもと、品目を選定、売上目標を掲げ推進しています。

【取り上げた商品例】

凝集剤、吸着マット、非塩素系加工油・切削油、鉛フリー半田、環境配慮型洗浄剤、フィルター、環境測定機器、シリコン、除菌スプレー、環境配慮型複合機、天敵農薬等

SDGsの取り組み

2021年度より取り組みを開始し、長野県SDGs推進企業登録制度に登録しました。本年度より目標管理を行ってまいります。

【SDGs登録目標：2030年度までに達成すべきこと】

1. CO₂排出量を2021年度比10%削減

ISO14001環境マネジメントプログラムを活用し、温室効果ガスの排出量削減に取り組みます。

CO₂排出量実績表 CO₂排出量を2021年度比で10%削減 ※2030年度までに達成すべきこと

	電力使用	都市ガス	LPG	灯油	車両ガソリン	車両軽油	契約車両	計
2021年度 (構成比)	924,757kg 33.1%	27,280kg 1.0%	176kg 0.0%	25,343kg 0.9%	1,086,664kg 39.0%	492,475kg 17.7%	232,989kg 8.4%	2,789,684kg 100%
削減目標								2,510,715.6kg
2022年度 (2021年比)	919,010kg 99.4%	29,422kg 107.9%	275kg 156.3%	21,135kg 83.4%	972,009kg 89.4%	480,912kg 97.7%	237,850kg 102.1%	2,660,613kg 95.4%

CO₂排出量グラフ



2. 通勤車両ノーマイカーデー 1回/週の実施

地域社会に根ざした社会貢献活動を継続的に推進します。

3. 環境商品の販売実績金額を2021年度比20%伸長

環境影響に配慮した商品を事業部毎に取り上げ、販売活動を通じて環境に貢献します。

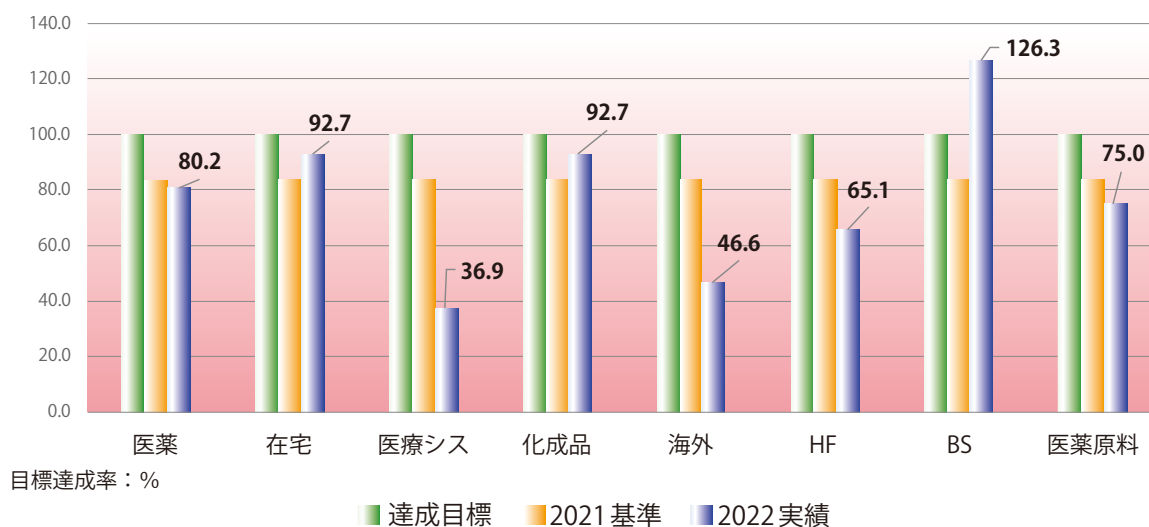
環境商品実績表 環境商品の販売実績を2021年度比で20%伸長 ※2030年度までに達成すべきこと

	医薬	在宅	医療シス	化成品	海外	HF	BS	医薬原料
2021年度	1,302	76,669	66	3,060,592	8,044	153,893	88,818	949,774
達成目標	1,562	92,003	80	3,672,710	9,653	184,672	106,582	1,139,729
2022年度 (目標比)	96.2%	111.2%	44.3%	111.2%	55.9%	78.1%	151.6%	90.0%

※医療システムのみ目標値は電子カルテ導入件数率

単位：千円

環境商品達成率グラフ



社会貢献活動

🌿 清掃活動

事業所ごとに年間計画を定め、清掃活動を実施しております。地域社会への貢献の第一歩として、会社の周りの道路・歩道等の清掃を行なっています。

鍋林の関連会社で構成する「かたばみ会」では、年4回「かたばみ会一斉清掃」と題し、各社全事業所で内外の清掃を一斉に実施しました。



清掃活動

🌿 献血運動

松本本社では、松本赤十字血液センターの献血車を社内に招き、献血を行なっています。例年、3月と10月の2回実施しています。



献血運動

🌿 募金運動

薬物乱用を防止する「ダメ。ゼッタイ。国連支援募金」、
「NHK海外たすけあい義援金」への募金活動を行なっています。

※通勤車両ノーマイカーデー

全社で毎週1日ノーマイカーデーを設定し、通勤にマイカーを使わず、公共機関を利用するようにしていますが、本年は新型コロナウイルス感染防止対策として公共交通機関内での感染を防ぐため、公共交通機関の利用によるものは一時自粛し、徒歩及び自転車によるものだけといたしました。

※地域貢献

近隣の皆様にお役に立てるよう、営業時間外に松本本社駐車場を行事等にご利用いただいております。主に、小学生の夏休みの早朝ラジオ体操やリサイクル品の回収、町内会の秋の防災訓練などにお使いいただきました。

また、地域振興につながる行事や催事に積極的に参画することで、文化活動の支援を行うと共に、環境に関わる各種団体に加入し、それらの活動を通じて社会貢献を行なっています。

環境教育

当社で働く、また当社のために働くすべての環境に影響する活動に従事する人々に対し、教育訓練の必要性を明確にし、その手順を「教育研修要綱」に定め、年間計画を策定して環境教育を実施しています。

①基礎教育（全構成員対象）

- 当社の環境方針、環境目的・目標及び環境マネジメントシステムの要求事項について
- 地球環境問題について

②専門教育（該当者）

- 商品保管、配送、フォークリフト運転教育
- 環境関連商品の知識習得
- 関連法規教育

③緊急事態対応訓練

- 危機管理マニュアル教育
- 消火、避難、救出、救護、緊急連絡訓練
- 普通救命講習



防災訓練

コンプライアンス

関係法令を遵守することは勿論、企業倫理の醸成を図るため、10箇条からなる「倫理規範」を設け、それを柱としたコンプライアンス・プログラムを策定、全構成員がそのプログラムを行動の拠り所として実践することにより、お取引先・地域社会から信頼され、ともに成長・発展する企業となることを目指してまいります。

コンプライアンス・プログラム図



本年度環境活動を振り返り

環境管理責任者 取締役 矢口 治

本年度（2022年5月～2023年4月）は、新型コロナウイルス感染症への警戒感が続く中、過去最高の感染者数を記録した第7波、そして、それに続く第8波においても、行動制限を行なうことなく、社会活動の正常化に向けた動きが見られました。一方で、依然として、ウクライナ情勢や異常気象などによるエネルギーや食糧価格の高騰といった状況が続きました。

このような状況の中ではありますが、当社は2019年度から4ヶ所の拠点を新設し、市場の拡大を進めてまいりました。本来、人員・車両・施設などの増加に伴い、環境負荷となるエネルギー使用量も増加することになりますが、推移表をご覧くださいと解の通り、全社的には電力使用量を除き、燃料使用量、廃棄物排出量、OA紙使用量は減少しています。コロナ禍による影響を受けた結果ではありますが、引き続き、企業価値の向上を追求すると同時に、環境への責任を重要視し、その両立に努めてまいります。

また、2022年度からは、事業を通じて社会課題の解決を図るべく、各事業部がそれぞれの事業分野で目標を掲げ、SDGs活動を推進しています。お取引先や地域社会からの様々な課題やご期待に応えるため、新たなアプローチを模索しながら、社会・環境課題の解決に取り組んでまいります。

当社では、外部利害関係者及び行政機関等からの、環境に関する苦情、依頼、問い合わせを常時受け付けています。それらに迅速に回答、対応すると共に、その結果を「環境に関する外部との情報記録表」として記録しています。

当「社会・環境報告書」は当社ホームページ上でも公開し、誰でもお読みいただけるようにすることで、一つでも多くのご意見を頂戴し、今後の環境活動に役立てていこうと考えています。

皆様からの忌憚のないご意見を頂戴できれば幸いです。

鍋林株式会社 社会・環境活動 環境報告書 <https://www.nabelin.co.jp/eco/index.html>

ISO14001 認証取得

初回認証 2001年3月27日

登録番号 E00-188

認証範囲 松本本社、東京本社、
日本国内営業所、配送センター、
当社取扱い販売分野に関連した
業務全般及び本社・本部スタッフ業務

適用規格 JIS Q 14001 : 2015

(ISO 14001 : 2015) ISO14001 認証取得

社会・環境報告書2023

対象期間 2022年5月～2023年4月

発行日 2023年9月11日

編集・発行 鍋林株式会社 総務グループ

長野県松本市双葉8番10号

TEL 0263-27-6545

FAX 0263-27-6570

発行責任者 環境ISO主管部門

総務グループ長 小口 裕康



この冊子は、適切に管理されたFSC[®]認証林、
再生資源およびその他の管理された供給源か
らの原材料で作られています。